

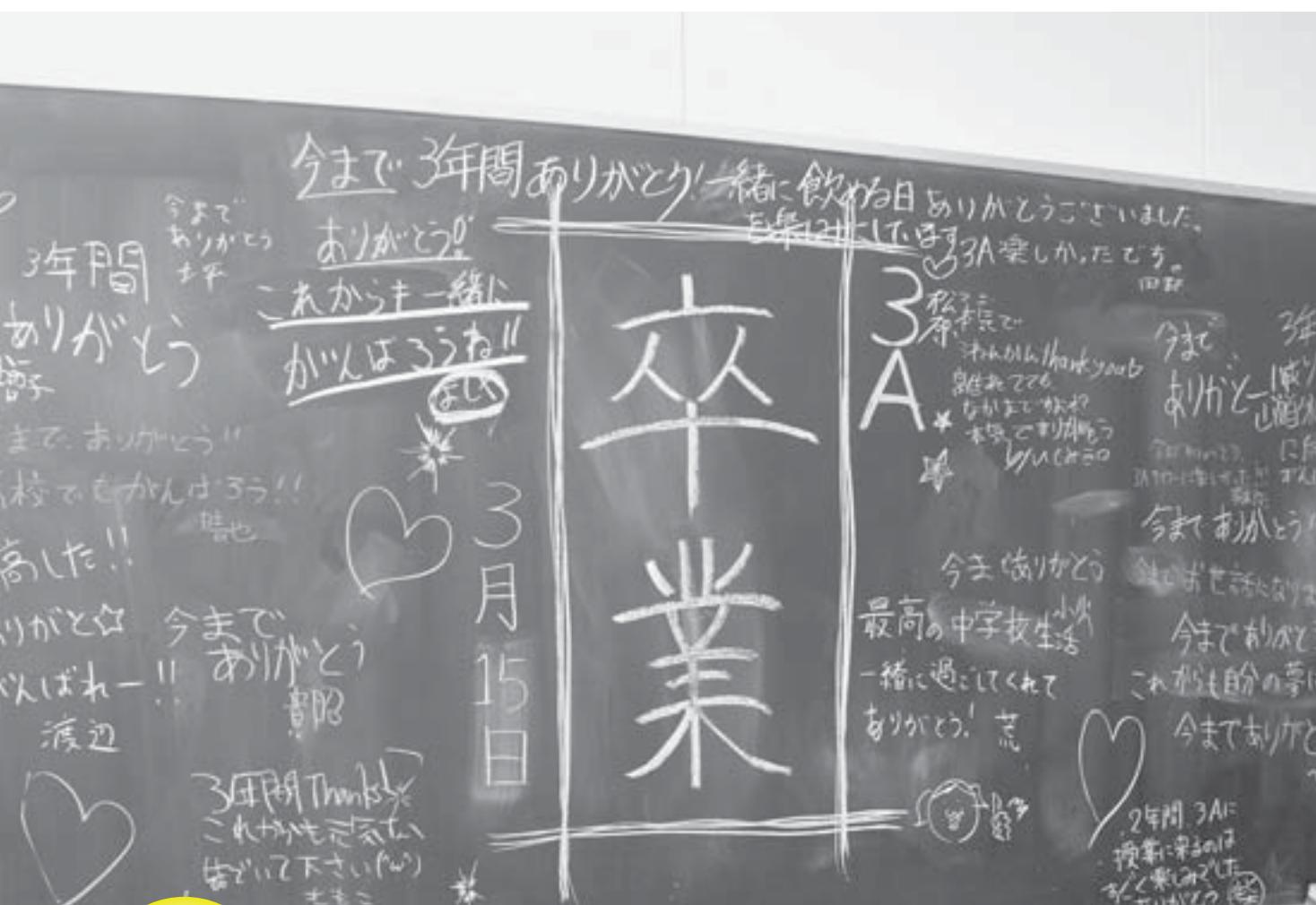
広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

Apr 2012.4
No.1002



特集

町政執行方針・教育行政執行方針

町民生活に密着し、
安心して暮らせるまちづくり



平成23年本別中央小学校入学式。次代を担う子どもたちの心を育む環境作りを進めます

子どもたちは、次代を担う宝、私たちの希望でもあります。子どもたちが未来に大きな目標を持つて生きいく心を育む環境をつくり上げることが求められています。そのためには、家庭・学校・地域が融合し、大人と子どもが一緒になって日々学ぶ「ほんべつ学び」の理念の下、関係機関・団体と連携を図りながら、「4つの風」事業を推進してまいります。

さらに、心豊かで充実した生活を営むために芸術文化活動やスポーツ活動などをより活性化するとともに、個性豊かな地域文化の創造といきいきとした地域コミュニティの基盤形成に努めてまいります。

確保対策、環境保全型農業対策、農地集積対策、鳥獣被害防止対策、土づくり事業および地場産品の付加価値向上対策の実施な

平成24年度 主要な施策推進の基本的な考え方

①生涯を通じて 学び、豊かな心を 育むまちづくり

②地域資源を 活かした豊かな まちづくり

子どもたちは、次代を担う宝、私たちの希望でもあります。子どもたちが未来に大きな目標を持つて生きいく心を育む環境をつくり上げることが求められています。

そのためには、家庭・学校・地域が融合し、大人と子どもが一緒になって日々学ぶ「ほんべつ学び」の理念の下、関係機関・団体と連携を図りながら、「4つの風」事業を推進してまいります。

本町の農業は、恵まれた自然と土地資源を活用した経営が展開され、我が国の食料基地として生きていく心を育む環境をつくり上げることが求められています。

そのためには、家庭・学校・

地域が融合し、大人と子どもが

一緒になって日々学ぶ「ほんべつ学び」の理念の下、関係機関・団体と連携を図りながら、「4つの風」事業を推進してまいります。

本町農業については、安全・安心で良質な農畜産物の安定供給と環境保全などの役割を一層進め、「本別町農業基本構想」に基づき、諸施策の具現化に向けてまいります。

具体的には、担い手の育成・

農地の基盤整備対策は、引き続き食料供給基盤強化対策事業を実施するなど土地基盤整備事業を

推進してまいります。

次に、林業の振興につきましては、民有林の造林および保育事業に対する助成を行い、併せて、担い手の育成・確保、町有林の整備など、健全な森づくりを図るなど土地基盤整備事業を

推進してまいります。

次に、畜産振興につきましては、良質・安心な生乳の増産体制を確立することとともに、黒毛和牛繁殖雌牛の保育事業を推進します。また、家畜自衛防疫体制の強化に努め、さらに、家畜排せつ物の管理適正化を進めています。

一方で、畜産の生産性向上

を図ることで、畜産の生産性向上



防災総合訓練。各種災害に備えて、防災意識の高揚を図ります

正に実行します。基金の納入された後期高齢者医療特別会計につきましては、今後とも高齢者等にかかる医療制度の情報収集を続け、運営主体の広域連合と連携を図ってまいります。

次に、病院事業につきましては、町民、診療圏内住民が、「いつでも」「どこでも」安心安全で暮らせる地域社会を医療面から支える病院を目指すこととして策定した「中・長期計画」を推進し、周辺地域の拠点病院としての役割を担つてまいります。

の向上のため、引き続き接続の改善に努めながら、地域に開かれて、信頼される病院・クリニックに取り組んでまいります。

防災対策につきましては、災害に対する心構えや避難場所などを示した防災ガイドマップを作成します。また、防災資機材の配置調査を自治会等の協力を得ながら行うとともに、「防災研修会」を開催し、各種災害に対する、防災意識の高揚を図ります。

さらには、交通事故のない、犯罪のない明るく住みよいまちを目指し、町民一人ひとりの防犯・交通安全意識の啓発に努めてま

(4) 快適で
やさしさのある
まちづくり



太陽光発電システム導入により、地球温暖化
防止と省エネルギー化を目指します

次は、水道は、旅館の営業設備や維持管理を計画的に行なうため、良好な水を安定的に供給であります。下水道につきましては、水洗化の促進を図つてまいります。公共下水道区域外で実施していくます浄化槽整備事業についても、引き続き事業の推進を図つてまいります。

公館住宅整備につきましては、住環境の向上を図るため、栄町団地の建替事業と向陽町団地の改善事業を実施いたします。

公園緑地の整備につきましては、「義経の里本別公園」をはじめ、他の公園施設についても効率的な維持管理を行いま

⑤町民力、地域力、
行政力が發揮
できるまちづくり



充実した子育て支援
の推進を図ります

本町の高齢化率は、平成24年
度には34%となり、今後は25年
以上の高齢者が増加する超高齢化
社会を迎える中で、これまで町
民参画による創造的な福祉施設
を取り組んでまいり

ンターを中心取り組むとともに、関係機関、団体と一緒に青少年の健全育成に努めています。

第5期介護保険料につきましては、平成24年度から平成26年度までの計画期間中の介護保険料の基準額（第1号被保険者）を月額4370円に改定することいたしました。その算出においていたまでは、介護報酬の改定や介護給付費の増加により保険料の引上げが必要と判断したところであります。

地域包括支援センターでは、介護予防マネジメント、高齢者虐待防止や介護相談員、やすらぎ支援員の派遣事業などの充実を図りながら、引き続き町内の歯科医院と協力して口腔機能向上事業を実施してまいります。

権利擁護事業につきましては、社会福祉協議会と連携し、本年度からは市民後見人養成研修度

では、1回の助成金を継続して支給するところも、料金による原頭がん・乳がん検診、大腸がん検診も継続して実施し、受診者の拡大に努めます。特に人間ドックの胃がん検査につきましては、胃バリウム検査に加えてペプシノーゲン検査とピロリ菌検査をすることで、より精度の高い検診に努めます。心の健康づくり事業につきましては、相談支援体制として、相談窓口の充実を図るとともに、心に不安を抱えた人の身近な相談者となる人材の育成に努めます。老人ホームの運営につきましては、サービスの質の向上を目指し、利用者・家族・地域に信頼される施設運営に努めてまいります。

次に、国民健康保険特別会計につきましては、地域の経済状況・高齢者の負担増などを考慮いたしまして、本年度も税率改定いたしまして、本年度も税率改定

を浴びました伊馬互衛門を押送してまいります。

子育てを認めたと、明確な対応を図っています。適切な対応を図つています。

（例）と反応後見支援センタの設置に向けた取り組みを進めています。

まで優やかなお心遣いが、心地よいおもてなしをうながす。また、お子様の成長を喜んでお見守る姿は、とても温かく、安心感があります。お子様の成長を喜んでお見守る姿は、とても温かく、安心感があります。



本別高校生存続へ向けて、さらなる支援を推進します

明日を担う人材の育成と国際社会の将来を見据えた国際理解教育の推進を図ります。

勇足小学校の姉妹校との交流研修では、本年度は友好都市「徳島県小松島市」へ勇足小学校の児童を派遣し、長年培つてきた絆をさらに進めます。

特別支援教育の体制整備については、特別支援教育連携会議による専門委員会機能を充実し、町内全校に配慮している特別支援教育支援員を増員してさらなる充実を図ります。

本別高校への支援活動については、学力向上対策、進路対策、本別高校の伝統継承としての「文武両道」支援、通学支援など、本別高校および本別高校の教育を考える会と連携を図ります。

地域の高校として安心な地場産の食材を活用して、存続活動を推進します。

食育の推進につきましては、安全で安心な地場産の食材を活用して、存続活動を推進します。

美しくて栄養バランスのとれた学食の提供に努めます。また、老

明日を担う人材の育成と国際社会の将来を見据えた国際理解教育の推進を図ります。

勇足小学校の姉妹校との交流研修では、本年度は友好都市「徳島県小松島市」へ勇足小学校の児童を派遣し、長年培つてきた絆をさらに進めます。

特別支援教育の体制整備については、特別支援教育連携会議による専門委員会機能を充実し、町内全校に配慮している特別支援教育支援員を増員してさらなる充実を図ります。

本別高校への支援活動については、学力向上対策、進路対策、本別高校の伝統継承としての「文武両道」支援、通学支援など、本別高校および本別高校の教育を考える会と連携を図ります。

地域の高校として安心な地場産の食材を活用して、存続活動を推進します。

食育の推進につきましては、安全で安心な地場産の食材を活用して、存続活動を推進します。

朽化が著しい学校給食共同調理場の整備につきましては、本年度は年度設計業務を委託して平成26年度度の供用開始に向けて取り組みます。

本年度から第7次本別町社会教育中期計画がスタートするところから町民が心豊かに生涯にわたり自己実現が図れるよう、各種学習機会の提供や明るい地域社会の創造を目指します。

就学前の子育て中の保護者を対象とした地域サークルと連携して、「家庭教育支援事業」を開設して、「家庭教育支援事業」を開設し、より充実した子育て支援や家庭教育に向けた総合的な取り組みを進めます。また、地域の協力を得て、子どもたちに様々な体験や学習・交流活動などの機会を行う「勇足地区放課後子ども教室」を開設し、子どもたちの安心な居場所づくりと健全育成を図ります。

図書館につきましては、本町の歴史を電子化整備し、「ふるさと歴史事典」として公開し、「ファーストブック事業」では、親子の触れ合いが心の財産となるように取り組むとともに、絵本づくりを通して、想像力・表現力を高め、併せて国語の学力向上を図ります。

資料館では、開戦70年の節目となることから「7月15日本別空襲を伝える」企画展を開催し、本別町の様子を展示資料や体験学習を通して、平和や命の大切さを伝えていきます。また、学校のルーツ展および昔体验学習を開催し、本町の歴史を紹介します。

教育環境は大きく変化してきておりますが、子どもたちが、心豊かに、すこやかにたくましく生きていけるよう、また町民の皆さまが芸術や文化、スポーツに親しみ、明るく元気で、喜びと希望に満ちた暮らしとなれるよう、教育委員会は全力で取り組んでまいります。

さらに、現在、十勝圏複合事務組合において消防広域化の検討を行っているところであり、その構成団体の一つとして、十勝ましては、十勝の市町村と連携し、定住自立構想の取り組みを積極的に推進していきます。



教育行政執行方針を述べる水谷令子教育委員長

教育行政執行の基本的な考え方

家庭・学校・地域が相互に協力し、子どもたちの教育やまちづくりに主体的に参加する「ひづくり」を進めます。

確かな学力を身につけた子ど

教育行政執行方針

さらには、はつらつとした活力のある地域文化の創造を基本とした施策の展開を図ります。

私たちが郷土に愛着と誇りを持ち、志を抱き、社会で自立する力を身につけて、たくましく成長するよう、家庭・学校・地域が一体となった取り組みを展開し、「一人ひとりの個性を生かし、元気な声が響く教育の充実と豊かな心とたくましい心身をつくる学び、スポーツの振興、さらには、はつらつとした活力ある新学習指導要領が中学校で

から新学習指導要領が中学校で全面実施となります。また、毎年実施している全国学力・学習状況調査の結果の分析をもとに、各学校が学校改善プランなどを作成し、確かにその学校の特色ある教育課程を編成するなど、児童生徒の学力向上に向けた取組みを進めます。

教育環境の整備については、老朽化した施設・設備等の修繕や改修などにより整備充実に努めるとともに、定期的な学校訪問で、これらの未然防止や早期発見・早期対応に努めているスクールバスは定期的な運行に支障がないように年次計画により更新を行います。

「ほんべつ学びの日」のさらなる推進のため、学校が自ら企画し実施する事業を奨励するとともに、普及啓発活動を通して、大人と子どもたちが共に日々学ぶ四つの風の具体的な取り組みを町の中に広めます。

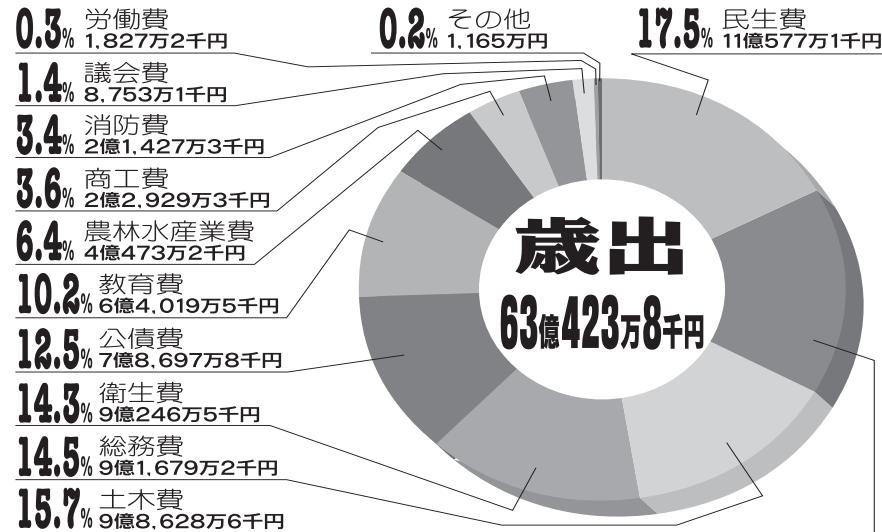
学校教育については、本年度から新学習指導要領が中学校で



新学習指導要領が全面実施となる中学校

子どもたちの「心の悩みの解消」と「いじめ・不登校等の対応」では、スクールカウンセラーや国際理解教育の推進では、中学校で英語指導助手を配置し、教育アドバイザーを配置して、それぞれの学校の特色ある教育課程を編成するなど、児童生徒の学力向上に向けた取組みを進めます。

平成24年度 112億221万5千円



各会計別当初予算額 (単位:千円・%)

会計区分	本年度 A	前年度 B	差引(A-B) C	C/B×100
一般会計	6,304,238	6,340,003	△ 35,765	△ 0.6
国民健康保険	1,264,871	1,324,562	△ 59,691	△ 4.5
後期高齢者医療	113,797	105,972	7,825	7.4
介護保険事業	811,718	703,447	108,271	15.4
介護サービス事業	284,483	275,137	9,346	3.4
簡易水道	100,665	93,673	6,992	7.5
公共下水道	497,295	489,562	7,733	1.6
小計 (1)	9,377,067	9,332,356	44,711	0.5
企業会計	水道事業 収入	144,461	143,062	1,399
	水道事業 支出(2)	144,461	143,062	1,399
企業会計	資本的収支 収入	41,610	44,000	△ 2,390
	資本的収支 支出(3)	88,311	85,322	2,989
企業会計	病院事業 収入	1,344,392	1,338,463	5,929
	病院事業 支出(4)	1,448,826	1,447,585	1,241
企業会計	資本的収支 収入	116,291	76,697	39,594
	資本的収支 支出(5)	143,550	105,954	37,596
合計 (1)+(2)+(3)+(4)+(5)	11,202,215	11,114,279	87,936	0.8

一般会計 63億 423万8千円
特別会計 30億 7,282万9千円
企業会計 18億 2,514万8千円

財政基盤の確立と生活に密着した事業の確保、町民が夢と希望の持てる施策の展開を図ります

平成24年度予算編成

平成24年度の予算規模は、一般会計および特別・企業会計を合わせて予算総額112億221万5千円となり、前年度と比較すると0.8%の増となっています。予算編成にあたっては、依然として財政状況の厳しい中、財政の健全化に配慮しながら、総合計画に掲げる本町の主要課題である（1）新たな仕事づくりの創造（2）少子高齢化過疎対策の取り組み（3）高速自動車道路網、高速通信網の利活用（4）循環型社会の構築（5）地産地消の取り組みを進めるために必要な施策を盛り込んだ予算としました。

一般会計予算の概要

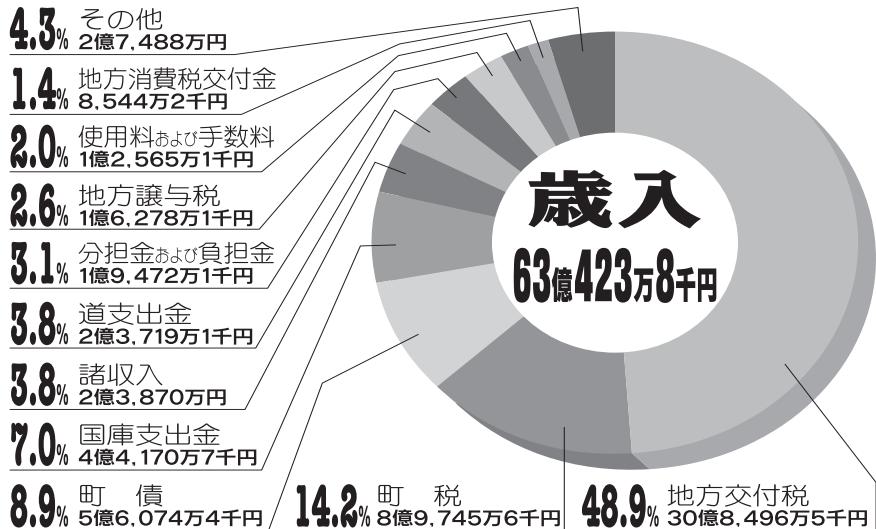
一般会計予算の総額は、63億423万8千円で、前年度当初予算63億4,000万3千円と比較し、0.6%の減となっています。

歳入については、町税は歳入の14.2%を占めており、前年度当初予算と比較すると、1,349万5千円、1.5%減の8億9,745万6千円を見込んでいます。主な要因としては、町民税個人所得割が358万7千円、1.1%減、固定資産税の家屋が1,731万5千円、9.2%減となっています。

地方交付税は、総額で歳入の48.9%を占めていますが、普通交付税については、国勢調査人口の減、公債費算入額の減などから、前年度当初と比較して3,957万9千円、1.4%減の28億3,552万9千円を見込み、特別交付税を含めた地方交付税総額は、30億8,496万5千円を見込んでいます。

繰入金は、財政調整基金をはじめとした基金繰入金を1億6,981万6千円とし、前年度の1億3,692万円に対して、3,289万6千円、24%の増としました。財政調整基金は前年度比1,000万円増の1億1,000万円、減債基金は前年度同額の1,000万円、ふるさと銀河線跡地活用等振興基金は779万6千円増の2,579万6千円、公共交通施設等整備基金を1,600万円としました。地方債は、5億6,074万4千円で、前年度比2,248万6千円、4.2%の増となっておりますが、医療機械器具、過疎債ソフト事業および臨時財政対策債を除く普通建設事業充当分は2億2,290万円で、前年度の3億970万円に対して8,680万円、28%の減となっています。

歳出については、投資的経費は10億2,610万4千円を計上しており、前年度当初予算と比較し、3,056万4千円、3.1%増となっています。雇用対策については、国の緊急雇用創出推進事業として3事業743万1千円、季節労働者雇用対策として348万3千円、ワークシェアリング枠として510万9千円（高校生3人）を計上しました。



特集

本別町のお金の使いみち

今年度主な事業あれこれ

☆印は新規事業です

平成24年度の一般会計予算の主な事業について、
ソフト事業、ハード事業に分けて説明します。

ソフト事業編 Part1

活動や仕組み、技術、情報、サービスなど
※ソフト事業目的ため整備されるハード事業を含む

妊婦健康診査助成

- ・妊婦検診 14回分
- ・超音波検査 8回分 **4,807千円**

インフルエンザ 予防接種助成

- 対象：幼児、小・中・高生、高齢者
1,750千円

麻しん・風しん予防接種

幼児期（2回）と中学1年生、高校3年生を対象に平成24年度まで実施します。
1,870千円

特定健診および 各種がん検診の充実

クーポン券による子宮頸がん検診、乳がん検診、大腸がん検診など。特に人間ドックの胃がん検診については、胃バリウム検査に加えてペゾシノーゲン・ピロリ菌検査をすることで、より精度の高い検診受けることができます。

11,155千円

精神保健対策の充実

自殺予防対策として心理カウンセラーによる相談を月1回開催し、心に悩みを抱えた人に声をかけ、必要な支援につなげて見守る「心の悩みサポーター研修会」などを開催します。

697千円

☆乳幼児等医療費助成 事業拡大

子育て支援を充実するため、町独自に住民税が課税されている世帯に対して、3歳から就学前の入通院費を全額助成します。

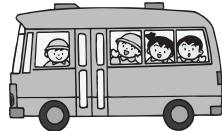
1,628千円



☆保育所児童輸送業務

美里別保育所の仙美里保育所への統合による子どもたちの送迎業務です。

2,059千円



☆包括ケアシステム（地域支え 合い体制づくり）事業

障がいのある町民が、地域で安心して暮らせるよう町関係施設を専用回線で結び、支援に必要な情報が途切れることなくサービスが継続できるように情報共有システムを構築します。

336千円

安心生活創造事業

一人暮らし高齢者等が安心して暮らせるよう「見守り」や「買い物支援」を行います。

1,995千円

地域活動支援センター事業

- ・町内小規模作業所 **1,318千円**
- ・広域利用促進 **350千円**

障がい者自立支援給付等

・補装具給付・修理 身体障がい者等	2,125千円
・自立支援医療 一般医療（人工関節等） 人工透析	301千円 21,770千円
・在宅精神障がい者通所交通費助成	87千円
・介護給付・訓練等給付 身体障がい者 知的障がい者 精神障がい者	32,644千円 118,116千円 5,836千円
・障がい児 地域生活支援事業	142千円 17,412千円
日常生活用具給付事業 移動支援事業 更生訓練費給付事業 日中一時支援事業 生活サポート事業 社会参加促進事業 身体障がい者自動車改造費助成 肢体・言語・情緒障がい児通園助成 ピアカウンセリング派遣事業 コミュニケーション支援事業	11,412千円

総事業費 198,433千円

本別町行財政改革の推進

第4次行財政改革大綱および推進計画の推進
(平成23~27年度)

- ・事務事業の再編、整理、廃止、統合
- ・新しい公共による民間委託等の推進



☆大型太陽光発電施設の誘致

- ・設置場所～本別町西美里別「太陽の丘」
- ・整備規模～1メガワット



☆起業家支援奨励金

新たな事業活動、新分野での活動、新製品の開発に対する支援を行います。

- ・起業家支援
- ・新製品等開発支援

10,000千円

いきいき商品券事業

地域商工業の活性化および景気対策として商工会に補助します。

- ・4,000万円分の商品券を発行、額面の15%上乗せ

6,500千円

雇用対策事業

- 緊急雇用創出推進事業
・地域ブランド広告DVD作成
2,972千円
- ・重点分野雇用創造事業 4,459千円
(介護分野・特産品研究開発)
- 季節労働者雇用対策 3,483千円
- ワークシェアリング枠
(高校生3人) 5,109千円

総事業費 16,023千円

生活維持路線バス (浦幌線)の運行

浦幌駅～本別町国保病院間を、1日4便、本別町と浦幌町の共同負担により予約制で運行します。

12,212千円

☆農産物ものづくり館を 活用した事業の推進

地元の資源を活用し、農産物の加工や講習会を通して食育の理解を深め、地場産品の開発、地域コミュニティならびに、地域経済の活性化を目指します。

- 平成24年4月23日オープン

4,525千円

地方バス路線運行 維持対策

十勝バス帯広陸別線を維持するための対策を図ります。

2,967千円

介護サービス事業特別会計

- ・本別町指定居宅介護支援事業所の運営
- ・本別町指定介護予防支援事業所の運営



38,809千円

介護保険特別会計

☆市民後見推進事業

「本別町成年後見支援センター（仮称）」の設置に向けた検討。市民後見人の養成及び活動支援体制の構築を図ります。

5,145千円

・地域支援事業

1. 介護予防事業

- ①通所型介護予防（運動器機能向上・栄養改善・口腔機能向上など）
- ②訪問型介護予防（うつ・認知症・閉じこもりの予防と支援）
- ③地域介護予防活動支援（認知症予防教室等の地域活動組織の育成と支援）

16,983千円

2. 包括的支援事業（地域包括支援センター）

- ①介護予防マネジメント
- ②総合相談支援／権利擁護／虐待防止支援
- ③包括的継続的マネジメント

30,162千円

3. 任意事業

- ①家族介護事業
 - ・認知症高齢者見守り事業（やすらぎ支援事業）他
- ②その他事業
 - ・介護相談員の養成および派遣事業
 - ・成年後見制度利用支援事業 他

3,014千円

☆図書館事業「親子ふるさと絵本づくり講座・金子みすゞ手づくり絵本講座」の開催

写真家・絵本作家の小寺卓矢氏を講師に迎え、ふるさとの良さを知るために、本別町の自然等を題材としたデジタル写真による絵本づくりとボランティアの協力により、小学生が自分の好きな金子みすゞの詩に想像力を高める絵や工作により絵本を作り、金子みすゞの世界を広めます。

46千円

スポーツイベント 「チャレンジデー2012」の開催

○開催日 5月30日（水）

毎年5月の最終水曜日に全国一斉に実施されている住民総参加型のスポーツイベントです。年齢や性別を問わず15分間以上運動するだけで、誰でも気軽に参加できます。

120千円

ふるさと交流研修事業

本年度は、南三陸町と協議の結果、従前通りの相互派遣交流とすることとし、地域活動等における少年指導者を育成し、両町の次代を担う青少年リーダーの資質向上と健全育成を図ります。

○東日本大震災で大きな被災を受けた南三陸町の子どもたちとの絆を深め、さらなる支援を図ります。

618千円

小学生小松島市交流研修

友好都市である小松島市と本町の小学生を相互に派遣し交流を深める事業で、本年度は小松島市立江小学校へ派遣する年です。

600千円

国際交流研修オーストラリア・ミッセル訪問

中・高生を姉妹都市に派遣し、国際理解教育の推進と交流親善を深めます。

3,006千円

病院事業 医療機器購入

- ・CT（コンピューター断層撮影装置）
- ・透析装置4台ほか

62,379千円

☆防災対策事業

- 防災ガイドマップ作成
- 自治会を対象とした「防災研修会」の開催
- 災害対策本部「図上訓練」の実施

899千円

東日本大震災 被災地等支援事業

宮城県南三陸町「福興市」参加支援

1,543千円

ソフト事業編 Part2

活動や仕組み、技術、情報、サービスなど
※ソフト事業目的ため整備されるハード事業を含む

☆農業振興人材育成事業

人材育成事業の一つとして、「農業塾」を開講し、諸問題に対処できる人材を育成します。

1,377千円

☆農地集積協力金事業

農地の利用集積により経営規模拡大に協力する農地所有者に助成します。

4,000千円

☆青年就農給付金

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農直後の所得確保を支援します。

3,000千円

☆権限移譲によるパスポート（旅券）発給業務

平成24年10月開始予定

420千円

本別高校の教育を考える会補助金

①一般事業

本別高校パンフレット、P R用チラシ作成



②進路指導対策事業

進路意識啓発講演会、進路指導講師招聘、視察研修、資格取得補助、オープンキャンパス参加補助

③学力向上対策事業

模擬試験受験補助：進学・就職模擬試験受験料、補助教材活用：駿台予備校サテライトDVD購入

④特別活動支援

部活動補助、大会参加交通費支援、外部指導者謝礼

⑤通学費支援

遠距離通学補助、下宿補助

8,152千円

環境保全型農業直接支払事業

地球温暖化防止、生物多様性保全に効果の高い営農活動を取り組む農業者を支援します。

8,000千円

(本町負担分 4,000千円)

本別町黒毛和種資質向上対策 優良繁殖雌牛保留促進事業

(30頭)

1,200千円

(本町負担分 600千円)

生乳生産基盤維持向上・ 経営安定特別対策事業

(200頭)

6,000千円

(本町負担分 2,000千円)

☆戸籍電算システム導入事業

11,550千円

勇足地区放課後 子ども教室の開設

親が働きながら安心して子育てが出来るよう、地域との協働により子供たちに体験や学習、交流等の機会を提供し、放課後の子どもの居場所作りと健全育成を図ります。

1,285千円

「ほんべつ学びの日」関連事業

家庭・学校・地域が融合し、大人と子どもが一緒にになって学びへの関心を高める「ほんべつ学びの日」を、広く町民に普及啓発し、学習意識の高揚と地域の教育力向上を図ります。

○文化講演会の開催（ほんべつ学びの日夢風事業）

物理学者の佐治晴夫氏と、児童文学者の矢崎節夫氏を講師に迎え、心豊かで活力あふれるまちづくりを進めための講演会（対談）を開催します。

420千円

☆除雪タイヤショベル
の更新
13t級1台 32,922千円

エネルギー対策の推進

平成21年度に策定した本別町新エネルギービジョンに基づき、地球温暖化対策に取り組みます。

- 太陽光発電システム導入補助金
 - ・一般住宅 6万円／1kw
(上限=4kw、24万円) 15件

3,600千円

橋梁長寿命化
修繕計画策定
163橋 13,000千円

町道歩道拡幅化
(バリアフリー)工事
高齢者や障がい者などが、スムーズに横断できるよう歩道の一部を拡幅します。
2路線 6,800千円

このほか
道路整備事業として
事業費95,000千円
で3か所の町道を
整備します

☆町道山手朝日線通り道路改良

(平成24～26年度)

〈道路改良工事〉
総延長=350m
幅員=5.5m
改良=80m

20,000千円

栄町団地公営住宅
建替事業
木造平屋建 2棟8戸
団地内道路整備など

137,522千円

ハード事業編 Part1

建物、道路などの事業

旧ふるさと銀河線跡地の対策

用地確定測量 (東仙美里～足寄町境界まで)
延長=3.51km

16,400千円

旧ふるさと銀河線事務所等撤去工事
現業事務所、倉庫、危険品庫、南本別乗降所 9,396千円

都市公園安全・安心対策
緊急総合支援事業

(平成23～25年度)
○本別公園 園路整備494m、階段整備2箇所
遊具更新6基、トイレ改修2棟
○義経公園 園路整備259m、トイレ改修2棟

112,000千円

向陽町団地公営住宅改善事業
コンクリートブロック造 平屋建 1棟4戸
53,283千円

ふれあい交流館外構工事

駐車場改良舗装 1,800m²

15,000千円

☆公営住宅長寿命化
計画策定

3,012千円

農業農村整備事業の推進

道営事業

○畠地帯総合整備事業

- ・本別地区新規計画書作成
- ・勇足地区調査設計
- ・仙美里地区調査設計・工事

333,000千円
(本町負担分 69,600千円)

団体営事業

○土地改良施設補修工事

4,000千円

畜産担い手育成 総合整備事業

(平成21~24年度)

施設・飼料基盤整備等

225,846千円
(本町負担分 113,938千円)

農地・水保全管理 支払交付金

環境の良好な保全と資質的向上を図ることを目的として、農業者と地域住民が農道や農業用排水路等の維持管理および環境保全管理の取り組みを行います。

47,864千円
(本町負担分 11,996千円)

桜ともみじの山造成事業

(新生地区)

〈整備〉 0.2ha
〈植樹祭〉 100本

683千円

★学校給食共同調理場 改築実施設計委託

給食センターの改築に向けて、実施設計費を計上します。
(平成26年度供用開始予定)

19,720千円

ハード事業編 Part2

建物、道路などの事業

町有林造林事業

(フラツナイ、新生地区ほか)

〈被害地造林〉 1.94ha
〈下刈〉 22.12ha
〈除伐〉 3.32ha

3,276千円

民有林造林促進事業

〈人工造林〉 3ha

〈下刈〉 110ha

〈除間伐〉 75ha

〈造林未済地対策〉 53ha

2,483千円

未来につなぐ森づくり推進事業

〈民有林の植栽〉 50ha

8,250千円

水道事業

浄水場操作制御装置更新工事

21,300千円

新町本通り配水管整備工事

9,500千円

☆浦幌坂配水池配水流量計更新工事

7,000千円

スクールバス の更新

中型車(41人乗り) 1台
19,803千円

★スポーツ施設の整備

○河川陸上競技場トラック改修工事
16,112千円
○町体育館バリアフリー改修工事
(多目的トイレ整備)
5,900千円

簡易水道事業

☆町道東中西中間道路改良に伴う
水道管移設工事

6,615千円

☆仙美里ポンプ場送水ポンプ更新工事
6,510千円

☆給水区域連絡管整備工事
2,756千円

街路灯整備事業

本別市街南地区他LED
灯整備

21,987千円

下水道事業

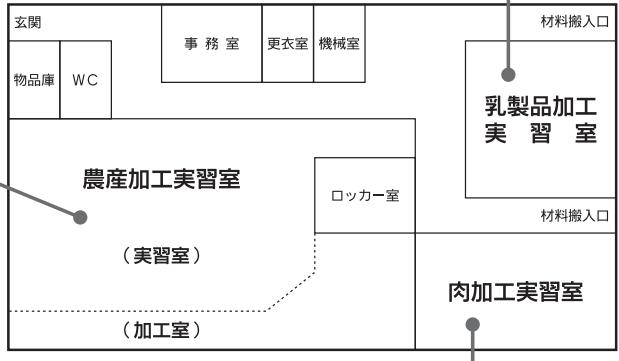
公共下水道
処理場機器更新等 一式

75,400千円

個別排水処理埋設
合併処理浄化槽新設 8基

17,768千円

フロアMAP



利用について

事前に申し込みが必要になります。専任職員（指導員）を1人配置していますので、お気軽にご利用ください。

予約受付開始日 4月10日(火)から

開館日 月曜日～金曜日

※土・日曜日および祝日、年末年始（12/30～1/5）は休館となります。

ただし、土・日曜日、祝日については、申請があった場合は開館します

利用時間 午前9時～午後10時

※正午から午後1時、午後5時から午後6時を除く

室 名	使 用 料 (1時間当たり)		
	室 料	電 气 料	暖 房 料 (11月～4月)
農産加工実習室	全 体	9 0 0 円	4 0 0 円
	実習室	5 0 0 円	2 0 0 円
	加工室	4 0 0 円	2 0 0 円
乳 製 品 加 工 実 習 室	3 0 0 円	2 0 0 円	5 0 円
肉 加 工 実 習 室	3 0 0 円	2 0 0 円	5 0 円

備 考

1. 水道・下水道料、ガス料は実費とします
2. 町外者の使用料は1.5倍となります
3. 町民が営利目的で使用する場合の使用料は2倍となります
4. 町外者が営利目的で使用する場合の使用料は3倍となります

予約受付および問い合わせ 企画振興課商工観光・元気まち担当 ☎22-8121
農産物ものづくり館 ☎22-6688



いよいよOPEN

本別町農産物ものづくり館

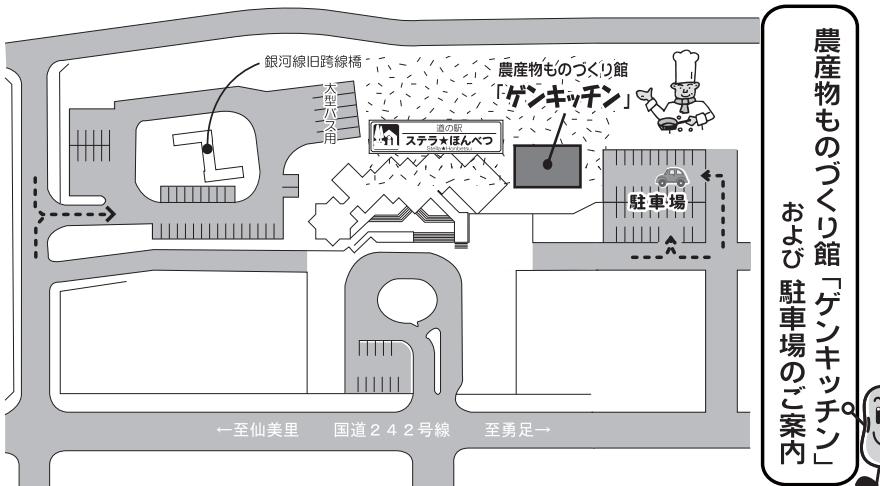
愛称 ゲンキッチン

施設一般見学会 4月16～20日 午前10時～午後4時

愛称「ゲンキッチン」の名称は、本別町が元気になるようにとの思いと町のマスコットキャラクター「元気くん」にちなんだ「ゲンキ」、本別町の台所という意味の「キッチン」の2つを併せて名付けられました。

ここでは、農畜産物を使った加工や調理実習をすることができ、常駐する専任指導員が、加工や調理方法、調理器具の使い方などのアドバイスやお手伝いをするため、誰でも気軽に使うことができます。今後は、料理講習会等を開催するとともに、新たな商品開発にも取り組んでいきます。多くの皆さん、ぜひご利用ください。

本別町農産物ものづくり館は、この施設は、本町の基幹産業である農業により生産された、農畜産物の付加価値を高めるとともに、食文化、教育、農商工連携、観光振興などの拠点施設となり、にぎわいある中心市街地の活性化を目指します。





料金の一部が 変わります

昨年11月、水道料金および公共下水道使用料の改定について町使用料等審議会（岡崎勉会長、12人）に諮問し、答申を受けました。この答申を踏まえた改正案が平成23年本別町議会第4回定例会にて議決され、本年4月使用分（5月請求分）から料金が改定されます。



上下水道料金は、平成20年6月に改定され現在に至っています。今回の改定では、前回改定に引き続き、平成16年3月改定では、前に町使用料等審議会から答申いただいた、「4年ごとの見直し」（上水道と簡易水道の料金体系一本化）が必要であるとの付帯意見に基づき、水道・下水道各会計の財政状況や管内市町村の上下水道料金と比較・検討した内容について諮問し、答申を受けたことで料金の一部改定を実施することとしました。

改定の主な内容
簡易水道・當農用水道料金
今回の改定は、簡易水道・當農用水道料金と上水道料金の現行料金体系に違いがあることから、上水道料金を据え置き、簡易水道・當農用水道料金を改定するものです。この改定は、前回から3回の改定で水道料金と同水準とすることとなりており、今回で2回目となります。

※料金の改定額等につきましては、次表をご覧ください

簡易水道・宮農用水道料金

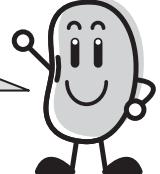
区分	現 行			改 定			改 定 額	
	基本水量	基本料金	* ¹ 超過料金	基本水量	基本料金	* ¹ 超過料金	基本料金	超過料金
家事用1	8 m ³	1,777円	163円	現行通り	現行通り	201円	—	38円
家事用2	8 m ³	1,184円	163円	現行通り	現行通り	201円	—	38円
家事・営農兼用	8 m ³	1,777円	* ² 163円	現行通り	現行通り	201円	—	38円
業務用	15 m ³	3,302円	203円	現行通り	3,695円	243円	393円	40円
當農用(防除用)	1 m ³ 当たり 126円			現 行 通 り			—	—
臨時用	1 m ³ 当たり 361円			1 m ³ 当たり 458円			—	97円

※1 超過料金は1 m³当たりの単価です

※2 超過水量が7 m³を超える量については現行通り126円となります

この改定による影響額を一般家庭の月額平均使用料の12 m³で計算すると、月額152円負担増となります。料金改定の実施時期は、平成24年4月使用分（5月請求分）からとなります。

問い合わせ 建設水道課管理担当 ☎ 22-8122



西山誠（まこと）
（本別中学校PTA会長）

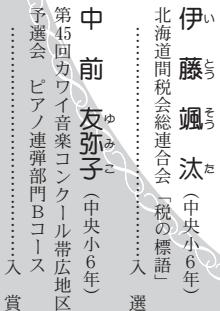
【個人】
少年少女文化奨励賞



宮崎愛望（まなみ）
（中央小5年）
北海道間税会連合会「税の標語」
優秀賞



五若愛華（まなみ）
（勇足小5年）
第37回十勝小唄のど自慢大会
少年の部 優勝



中前友弥子（ゆめこ）
（中央小6年）
北海道間税会総連合会「税の標語」
入選

平成23年度 町教育功績者、 少年少女文化・スポーツ奨励賞

30個人、6団体

平成23年度の「町教育功績者表彰式」ならびに少年少女文化・スポーツ奨励賞授賞式」が3月10日、中央公民館で執り行われました。功績者および受賞者は次の通りです。（敬称略）

西山誠（まこと）
（本別中学校PTA会長）

【個人】
少年少女文化奨励賞

廣瀬乃愛（ななみ）
（中央小1年）
第17回どうしん私とぼくの小学生新聞
地区予選会 ピアノ連弾部門Bコース・ピアノソロ部門Bコース・入賞

藤原まなみ（まなみ）
（中央小2年）
第45回カワイ音楽コンクール帯広地区
予選会 ピアノ連弾部門Bコース・ピアノソロ部門Bコース・入賞

元気なお口で

介護予防！



町では、要介護状態になることを予防するための口腔機能向上を目指した取り組みとして、平成21年度から地域での介護予防教室やサロンで、「お口の健康を保つことの大切さについて講話などを開催してきました。また、「食べ物をしっかりと噛んで食べるかどうか」が介護予防に大きく関係していることが、平成23年6月に実施した高齢者実態調査の中からも読み取ることができ、平成23年7月から通所型介護予防事業「元気いき教室」の中で「お口の健康プログラム」を実施することで口腔機能の維持や向上が見られています。

図1は、平成23年6月に実施した高齢者実態調査から65歳以上で要介護認定を受けている人の基本チェックリストに該当する項目を表したもののです。

入れ歯のかみ合わせが悪い人は良い人に比べ、運動や認知機能の低下、うつや転倒などの危険性が高いことがわかります。このようなことから食べ物をしっかり噛むことによって、食欲の低下による栄養摂取の減少を防ぎ、体力や筋力を維持できることがわかります。まずは、介護予防の第一歩として、食べるこの楽しさ、大切さを考え、お口の健康を保ちましょう。

しつかり噛んで 介護予防！



元気いき教室で 口腔機能が改善

実施し、口腔ケアの習慣作りを目指しました。その結果、お口の健康プログラムに参加した70歳代から90歳代の20人は、口腔機能が「改善した」6人(30%)、「維持した」6人(30%)、「悪化した」という人はいませんでした。中でも特に改善が見られた点は、「口が渴かなくなつた」12人(60%)、「舌の汚れが少なくなった」9人(45%)などです。

まずは基本チェックリストで 自分の生活機能状態をチェック!! 平成24年度は5月からスタート！

元気いき教室では町内の歯科医師や歯科衛生士の協力を得ながら、平成23年7月から6か月にわたり月1回、「お口の健康プログラム」を取り組んできました。プログラムでは、歯科医による健診や歯科衛生士の個別指導、お口の健康を高めるための体操やレクリエーションを行いました。

実証されました。元気いき教室では町内の歯科医師や歯科衛生士の協力を得ながら、平成23年7月から6か月にわたり月1回、「お口の健康プログラム」を取り組んできました。プログラムでは、歯科医による健診や歯科衛生士の個別指導、お口の健康を高めるための体操やレクリエーションを行いました。

元気いき教室は、基本チェックリストで口腔機能の低下などを一定の項目に該当し、機能低下の心配がある人が対象となります。最近、「硬いものが食べにくくなつた」「お茶や汁物等でも飲めない」とお口の状態に変化を感じた人は一度基本チェックリストで自分の生活機能状態をチェックしてみましょう。基本チェックリストは健康管理センターと地域包括支援センターに設置していますので、お気軽にご相談ください。

5月の開催日程

- 5月22日(火) ふれあい交流館(向陽町)
- 5月23日(水) 勇足いきがい館(勇足元町)
- 5月24日(木) 仙美里地区公民館(仙美里元町)
- 5月25日(金) 老人福祉センター(北1丁目)

問い合わせ

健康管理センター
地域包括支援センター
(総合ケアセンター内)

☎ 222-22219

お口の健康プログラム 参加者の声

- 知らなかつたことがたくさんあり、勉強になりました
- 自分の悪いところがわかり良かったです
- 今まで朝のみのケアだったが、教室に参加して夜もケアするようになりました
- 入れ歯を治すきっかけになりました
- 歯を調べてもらえてよかったです



元気いき教室では町内の歯科医師や歯科衛生士の協力を得ながら、平成23年7月から6か月にわたり月1回、「お口の健康プログラム」を取り組んできました。プログラムでは、歯科医による健診や歯科衛生士の個別指導、お口の健康を高めるための体操やレクリエーションを行いました。

元気いき教室は、基本チェックリストで自分の生活機能状態をチェックしてみましょう。基本チェックリストは健康管理センターと地域包括支援センターに設置していますので、お気軽にご相談ください。

TPPを考える講演会

オール本別でTPPを考える



「TPPで日本はどうなってしまうのか」と題したTPPを考える講演会（町内11団体主催）が3月2日、中央公民館で開催され、東京大学大学院農学国際専攻農博士の鈴木宣弘教授がTPPの仕組みや与えられる影響について講演しました。



本別町の地域経済や基幹産業である農業を脅かすTPP。日本は交渉参加に向け事前協議を開始！

TPPで日本はどうなってしまうのか」と題したTPPを考える講演会（町内11団体主催）が3月2日、中央公民館で開催され、東京大学大学院農学国際専攻農博士の鈴木宣弘教授がTPPの仕組みや与えられる影響について講演しました。

平成24年度の国民年金保険料額は1ヶ月14,980円です。

お支払い方法によってお得な割引制度もありますので、お気軽にお問い合わせください。



★保険料の追納はどうするの？

追納にあたっては、別途申請書の提出が必要になります。申込みは本別町役場住民課戸籍年金担当では帯広年金事務所（☎ 0155-65-5003）で行なうことができます。

- 障害基礎年金および遺族基礎年金を受給されるためには定の受給要件があります。
- 学生納付特例を受けた期間は、将来受けける年金の受給資格期間に算入されますが、年金額には反映されません
- 学生納付特例が承認された期間の保険料は、10年内であれば、古い期間から順に納付（追納）が可能です。（ただし、承認を受けた年度から起算して、3年度以降は、当時の保険料に一定の金額が加算されます）

詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
☎ 022-8128

本別町農産物ブランドづくりフォーラム

「本別ブランドで世界を目指そう！」をテーマとした本別町農産物ブランドづくりフォーラムが2月27日、道の駅ステラ★ほんべつで開催されました。「十勝本別キレイマメブランド」の立ち上げから深く関わっている武藏野美術大学の長澤忠徳教授と宮島慎吾教授が講演し、参加した約40人は農産物ブランドの目指すべき方向性について考えました。



世界への挑戦

「国際化時代のローカルブランド戦略を考える」と題し講演した長澤教授は、世界へ挑戦するには、まず「地元でおいしい」と思われることが大切で、次いで「何を売りにするのか」を明確にし、どれだけ「知名度を高め、本気になれるかが重要であるとアドバイスしました。続く、「本別ブランドの新たな一步への提言」と題して講演した宮島教授は、現状から進むたとえば、会社を設立するなど、新たな展開で町外市場へ進出することが必要であると指摘しました。



『学生納付特例制度』とは？

学生納付特例制度は、所得がない学生が将来、年金を受けることができなくなることや、不慮の事故等により障がいが残つてしまつた場合に、障害基礎年金を受けることができなくなること等を防止するため、ご本人の申請により保険料の納付が猶予される制度です。

★本人の所得のみで審査

学生納付特例制度は、所得がない学生が将来、年金を受けることができなくなることや、不慮の事故等により障がいが残つてしまつた場合に、障害基礎年金を受けることができなくなること等を防止するため、ご本人の申請により保険料の納付が猶予される制度です。

コ
ロ
ナ
年
金

その120

今年も

開催決定！

住民総参加型スポーツイベント

CHALLENGEDAY

住民総参加型スポーツイベント本別町チャレンジデー2012実行委員会（大西光夫
実行委員長）が2月29日、町体育館で開かれ、昨年に引き続き2回目となるチャレンジデー開催が決定しました。

会議では、昨年は震災の関係で実施方法が変更になつたが、今年は例年通り対戦形式で実施することを報告したほか、組織体制、事業計画、予算などについて協議し、昨年の参加者3475人、参加率41.5%を上回る全町的な取り組みにすることを確認。

3月9日には、参加6回の実績を持つ宮城県色麻町（人口＝7472人）が対戦相手に決定しました。

毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民総参加型のスポーツイベント。この日は、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分間以上継続して運動やスポーツをした「住民参加率」を対戦相手と競い合うものです。敗れた場合は、相手自治体の旗を手にメイソボールに1週間掲揚。相手の健闘をたたえるゴーラークなルールが特徴です。

チャレンジデーとは？

とき 平成24年5月30日(水)
午前0時～午後9時

ところ 町内ならどこでもOK
対象 子どもから大人まで



体を動かし、爽やかな気分に

日ごろあまり体を動かすことがなかつたけど、チャレンジデーに参加して爽やかな気分になりました。これを契機に体を動かすことを心掛けています。



留田 憲一さん



まちの行方 第5部

まちの行方



第5部

第4次行財政改革推進計画

広報ほんべつ3月号（No.1001）に引き続き、推進計画についてお知らせします。

※推進計画は、8項目からなつておあり、今号では、次の3項目について報告します。

【主な取り組み】
★適正な定員管理の推進

中長期的な視点に立ち、町の経営を戦略的に推進するための資源として職員を効率的・機動的に配置するため、「本別町職員定員適正化計画」に基づき行います。

【主な取り組み】
★常勤特別職の報酬の見直し

財政状況を勘案するとともに、管内状況を的確に捉え、報酬を適時見直します。

【主な取り組み】
★課・室の統合整理等

地域主権改革の進展、増大する事務、複雑・多様化する行政需要への確かに迅速に対応し、住民生活をしっかりと効果的な組織体制を構築するため、これまでの機構改革を検証します。

V 経費節減等の財政効果

【主な取り組み】 ★補助金等の見直し

透明性と公平性を高めるとともに、適正で効果的な施策の展開を図るため、時代の変化に即した補助金のあり方を検討します。



公共施設使用料の 移り変わりについて

平成17年5月

多くの公共施設使用料が減免規定により無料で使用する機会が多いことから、「適正な受益者負担」を基本とし、施設維持管理費の1割～2割程度を貯めるように公共施設使用料を設定しました。

平成22年1月

前回の使用料の改定を踏まえ、次の5点について見直しをしました。

(1)パークゴルフ場の1か月定期券の増設

除

(2)減免団体区分中「第2号団体」を削除

※第2号団体＝町内外に所在する国

または道の機関

※会議結果は、町ホームページで公開しています。

【本別町公式ホームページアドレス】

http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/public/cat/4_1.html

平成23年2月

使用料の引き上げについては、現状で

は難しいことから、当面は、各公共施設の維持管理費を抑制することを今後の第1目標と定め、より公平な受益者負担とします。

1目標と定めました。

(5)町外営業使用料金を一般使用料金の2・5倍から3倍に引き上げ

問い合わせ
企画振興課 行政改革担当
☎ 221-8121

【主な取り組み】
★課・室の統合整理等

複雑・多様化する行政需要への確かに迅速に対応し、住民生活をしっかりと効果的な組織体制を構築するため、これまでの機構改革を検証します。

【主な取り組み】
★補助金等の見直し

透明性と公平性を高めるとともに、適正で効果的な施策の展開を図るため、時代の変化に即した補助金のあり方を検証します。

【主な取り組み】
★課・室の統合整理等

複雑・多様化する行政需要への確かに

迅速に対応し、住民生活をしっかりと

効果的な組織体制を構築するため、こ

れまでの機構改革を検証します。

次の大会に向け 頑張ります

2/24

2月17日から19日に釧路市で開催された第83回北海道スピードスケート選手権大会および第40回北海道スプリントスケート大会に参加した本別高等学校1年の藤本優羽さんが2月24日、教育委員会を訪れ、中野博文教育長に大会結果を報告しました。藤本さんは、「思うようなタイムは出なかったが、次の大会へ向けてのイメージができた。今後も、この経験を生かして頑張りたい」と述べました。



日ごろの練習の 成果を披露

2/26

本別ジュニアアンサンブル（中野美穂団長）による第14回定期演奏会が2月26日、本別中央小学校で開催されました。3部構成の演奏会では、日ごろ練習した童話や洋楽、邦楽など全14曲が披露され、来場した約80人の観客からたくさんの拍手が送られました。



農業委員会懇談会

2/20

農業者や農地を所有する人を対象とした町農業委員会懇談会が2月20日、勇足・仙美里地区公民館で開催されました。農業委員から、農地の権利移動や転用の手続き方法、農業者年金制度について説明した後、出席者との懇談が行われ、町内の農地価格や農地の移動状況などについて、活発な情報交換がされました。



いざというときのために

2/23

家庭教育支援事業「なかよし」による、我が子を救うための救命救急講座が2月23日、消防職員を講師に招き、子育て支援センターで開催されました。7人の参加者は、人形を使った心臓マッサージや人工呼吸の心肺蘇生法実技に取り組んだほか、けがをした場合の応急処置についての説明を受けるなど、いざというときの対処方法についての理解を深めました。



いろんなメニューで 牛乳消費拡大

2/24

本別町食生活改善推進員協議会（小泉優子会長）による料理講座が2月24日、健康管理センターで開催されました。毎年牛乳消費拡大を目的に開催されているもので、今年は卵のマッシュポテトグラタンなど4品を調理。完成した料理は参加した15人全員で試食し、料理方法によって牛乳消費の幅が広がることを学びながらおいしくいただきました。



21回目となる徳島県小松島市立江小児童との交流研修が昨年12月21日～23日に行われました。今回は受け入れの年に当たり、16人の訪問児童は、熱気球・スノーモービル・乗馬・スケートなど、真冬の本別ならではの遊びを満喫し、交流集会で勇足の子どもたちと友情を深め、たくさんの思い出とともに帯広空港を後にいてきました。今年は、勇足小の5・6年生が7月に立江小を訪問します。今から南国徳島での熱い研修と雪と氷の上で友情を育んだ友達との再会をとても楽しみにしているところです。

各学校の手作りページ

HELLO 勇足小学校

熱気球の前で記念撮影



みんな友達！



第30回勇足地区公民館まつり～ほんべつ字じの日(光風事業)



昔遊びやぞうり作り、百人一首などを通して、世代を超えた人の絆を深めることができました！

保育所・小中学生・地域が一体となって取り組む「第30回勇足地区公民館まつり」が2月18日に開催され、勇小児童も全校合唱や作品展示、体験教室などに参加しました。人と人とのつなぐこの素晴らしいおまつりがこれからも継続していくことを願うとともに、やさしさや思いやりの心を24年度も学校教育の中で育んでいきます。

勇足小学校
ホームページのご案内

児童の活動する様子をホームページでも紹介しています。どうぞご覧ください。
<勇足小学校だより <http://blog.goo.ne.jp/yutari-els>>

ほんべつ 35
2012.4

34 ほんべつ
2012.4

高齢者文化祭

3|4

本別老人クラブ連合会（荒木又造会長）主催による第26回高齢者文化祭が3月4日、中央公民館で開催されました。会場では、陶芸や手芸などの作品展のほか、カラオケや舞踊、詩吟など日ごろの練習の成果を披露する芸能発表が催され、32組約60人で演出された舞台には、約240人の来場者からたくさんの拍手が送られました。



排雪作業で安全確保

3|10

帯広市の桐谷建設工業株式会社（安宅啓三社長）が3月10日、地域貢献活動の一環として仙美里小学校周辺の通学路や校庭などを排雪しました。作業には、大型ダンプとタイヤショベルが使用され、



42台分の雪を排雪。排雪後は、見通しが良くなり安全が確保されました。



家族で遊んで楽しい休日

3|4

全道中学生の税をテーマとしたポスター募集 本中・仙中生入賞

3|12

第26回全道中学生の税をテーマとしたポスター募集で入賞した本別中学校と仙美里中学校の生徒2人への賞状伝達式が3月12日、両校で実施され、安部隆十勝総合振興局課税課長から賞状と記念品が手渡されました。生徒らは「賞に入るとは思っていなかつたからびっくりした。これからもいい作品づくりにはげみたい」と喜びを語りました。受賞者は次の通り。（敬称略）

十勝総合振興局長賞=金賞 鈴木 愛絵（本別中2年）
十勝総合振興局長賞=銅賞 田中絵梨花（仙美里中2年）



本別町防災会議

3|2

第2回本別町防災会議が3月2日、役場で開催されました。会議では、事務局から防災総合訓練の実施報告や北海道地域防災計画に基づいて見直した本別町地域防災計画、平成24年度防災事業実施計画などを報告。地域防災計画には、東日本大震災を踏まえた大規模災害の対応や積雪・寒冷対策計画、ヘリコプター活用計画など7計画が新しく盛り込まれたほか、平成24年度の防災事業では防災ガイドマップの作成や自治会の防災担当者を対象とした防災研修会の開催などを確認しました。



健康長寿のまちづくり会議

2|28

第4回健康長寿のまちづくり会議が2月28日、総合ケアセンターで開催されました。事務局から地域説明会と町民から寄せられた意見結果が報告された後、第3期障がい者保健福祉計画（案）、第4期障がい者保健福祉計画（案）、第5期銀河福祉タウン計画（案）など4議案を審議。すべての議事が全員一致で承認され、三枝金作会長から「福祉でまちづくりの一端を担う計画を作ってください」と計画案についての意見を高橋正夫町長に具申しました。



栄町「男の料理教室」

2|29

「男性も何事にも挑戦」をテーマに、栄町自治会（高木幸夫会長）の「男の料理教室」が2月29日、健康管理センターで開かれました。メニューは「牡蠣の土鍋風包焼き」「青菜のゴマサラダ」など3品。エプロン・パンダナ姿の参加者は、講師の小泉優子さん（栄町）の説明を聞きながら、ぎこちない手つきながらも、楽しみながら調理に取り組み、出来上がった料理はお昼においしくいただきました。



舞踊祭

2|26

第35回舞踊祭が2月26日、中央公民館で開催されました。ステージ上では、華やかな衣装を身にまとった8団体の出演者が、日ごろ練習した華麗な舞を披露し、会場を訪れた約250人の観客を魅了しました。



囲碁大会で熱戦

2|26



第32回町民囲碁大会が2月26日、老人福祉センターで開催されました。

静まり返った会場では、A・Bの2クラスに分かれた囲碁愛好家22人による熱戦が繰り展開され、室内には碁を打つ音が響き渡っていました。本別町の上位者は次の通り。

Aクラス 優勝=大野正勝さん（柏町）
準優勝=田西信雄さん（北4丁目）
Bクラス 第3位=近田進さん（南1丁目）

南三陸町へ義援金

2|28

第30回勇足地区公民館祭り実行委員会の佐藤猛実行委員長と吉川伊都子副実行委員長が2月28日、役場を訪れ、高橋正夫町長に南三陸町への義援金51,112円を手渡しました。この義援金は、同祭りで実施された「南三陸町震災復興支援ハンマーブライスチャリティーオークション」の収益金で、本別町を通じて南三陸町へ届けられます。



みんなの健康

332

結びついでいません。では、どうしたら良いでしょうか。

一般的に肥満の人は体重を量りた

がらない、また体重を量る習慣がないようと思われます。しかし、体重を量るという行動療法がこのような

病院の診察室ではよく交わされる言葉です。皆さん良くご存知のように太りすぎは病気いろいろな悪い影響に及ぼします。今、よく言われているメタボリック症候群が代表的

なもの。個々の病気にについてはまたの機会にして、今回は肥満について考えたいと思います。

“先生”体重が減りません

診察室でよく、体重を減らして下さい”食事の力口リードを減らして、運動をしてください”と指導、説明されることがあると思います。しかし、なかなか思い通りに減量できないことが多いと思います。どうしてできないのでしょうか。この場合

“説得指導”と言う表現はむしろ強要する、叱ると言った表現に変えたほうが現実に近いかも知れません。しかしこのような指導を練り返しても、良い結果にはほとんど

あります。最も手軽で有効な方法といわれています。特に、朝の体重測定が生活習慣病の予防、治療に重要で、また頻回に量ることで体重増加の理由も自分で問題の解決につながります。体重の基準は朝の体重になります。体重の基準は朝の体重です。一日の体重変化は結構あります。食べれば増加し食べなければ増えません。食事の内容によつても、また時間によつてその傾向がわかつてきます。その変化をより見やすくするために、是非体重計に乗り、自分の体重に専心を持ち、病気の予防をしてください。まずそれからはじめましょう。

本別町国民健康保険病院
内科医長 磯村泰之

足寄町

—足寄町・陸別町から—



足寄動物化石博物館

からのお知らせ

□開館時間 午前9時30分～午後4時30分

□入館料 一般 400円

・小・中学生、高校生、満65歳以上 200円

※これまで、無料で行つていた模型やレプリカの着色は、4月から「レプリカづくり」には、植物化石として初めて広葉樹(クマシデ)の葉の化石が登場します。ぜひ、お友達、「家族連れで」来館ください。

□休館日 火曜日(ただし、5月1日は開館します)

□詳細 足寄動物化石博物館 ☎ 251-9100

第24回 日産カップオールジャパンパッチ選手権大会in陸別

オールジャパンパッチ選手権大会in陸別

□とき 午前10時～午前10時～

□ところ 陸別町タウンホール

□参加資格 20歳以上の男女

□参加料 1700円

□参加申込 電話で先着96人

□問い合わせ・申込先 陸別町役場産業振興課内

大会事務局 ☎ 271-2141

覚えていますか？学校帰りに日々の暮れのものも忘れて遊んだあの「もう一度思つていこう」ところの腕を振るいたいあなた！ぜひ一度ご参加ください。

ください。

未来に輝く
子どもたち



本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんた
くさんの夢に包まれてすくすく元気に育つね！

北8丁目
笠原

(陽子ママ)

向陽町
田 知
藤 空
(雅美ママ)

弥生町
佐 叶
藤 明
(弘美ママ)

※写真は本人に了解を得た
上で掲載しています

テレビ取材班が本別町にやってきた！

「川越シェフの仰天レストラン」のテレビ取材班が3月17日、本別発・豆ではりきる母さんの会の加工施設「本別まめ工房」にやってきました。この番組は川越シェフら6人の出演者が、北海道の食探しをする中、本別町の味噌に出会い、その味を堪能するという内容。取材を受けた同会会員の鈴江加世子代表は、「すごくおいしいと言ってもらつたので、これからも味に自信を持つてさらにおいしいものを作つていまます」と意気込みを話しました。



「川越シェフの仰天レストラン」は、4月28日(土)午後2時30分から午後3時55分まで札幌テレビ放送を始め、全国ネットで放送されます。

第7次社会教育中期計画答申

社会教育委員会の三井孝寿委員長と志戸田由美子副委員長が3月16日、第7次社会教育中期計画(平成24年度～28年度)の答申書を中野博文教育長へ手渡しました。これは、社会教育委員会が平成23年7月20日に中野教育長から諮問され、現状と課題を踏まえながら社会教育が担う今後のまちづくりについて協議を重ね、意見をまとめたもので、今後はこの答申書をもとに教育委員会で審議し、正式な計画として決定します。



ご寄付ありがとうございます

平成24年2月15日から3月26日

次の通りご寄付いただきました。

紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★本別町国民健康保険病院指定

タオル 30本 北8丁目 有田竹男

★新入学児童用

連絡用ファスナーファイル 68個 带広建設業協会

こうつうあんぜんあいうえおひょう 80枚

..... 本別町交通安全協会 会長 前田 進

交通安全愛のスズ 66個

..... 本別町商工会女性部 部長 小川 陸子

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付

★福祉でまちづくり推進事業

金5,000円 匿名

★福祉でまちづくり推進事業

金100,000円 拓農 高田 育子

戸籍のまど

お誕生

2月後半から
3月前半の
届出分

佐藤 叶 明くん 隆史さん 2/15 弥生町
狭間 蒼 太くん 祐貴さん 2/21 勇足元町
石川 琴 望 雅康さん 2/27 北4丁目
高橋 萌々子 秀和さん 3/5 清里
畠山 紗 良 光平さん 3/6 清流町

ご結婚

(出) 雲 真 人さん 兵庫県小野市
(濱) 下 真美子さん 新町
(中) 山 智 洋さん 向陽町
(木) 下 あゆみさん 清水町
(永) 井 祐 考さん 南4丁目
(梅) 津 真 衣さん 新町

おくやみ

前佛 勝 子さん 69歳 2/20 向陽町
高倉 明 雄さん 87歳 2/20 チエトイ
菅野 正 信さん 72歳 2/23 活込
荒木 勝 明さん 91歳 3/1 北7丁目
荒井 吉 光さん 83歳 3/8 東町
菊池 節 治さん 74歳 3/8 南2丁目
芳川 志 げ子さん 80歳 3/8 南2丁目
田中 登さん 87歳 3/11 上押帶

わたくしたちのまち

前月比

人口 8,190人(-33)
男 4,027人(-21)
女 4,163人(-12)
世帯数 3,839戸(-22)
〔2月末日住民基本台帳〕



君と未来をつなぐ本

2012 第54回 こどもの読書週間

4月23日は「子ども読書の日」、4月23日から5月12日までは「子どもの読書週間」です。

幼いころに読んだ本は、大人になっても心の深いところに生き続けます。本を読み、読んで考え、考えて行動する子どもたちが育つために、たくさんのかいのよい本との出会いが大切です。

春の読書週間ともいえるこの期間、ぜひ図書館へお出かけください。

本別町図書館の 「子どもの 読書週間」は…

- 子どもの日の楽しい工作
- 共同制作「みんなのこいのぼり」展示
- ファースト・ブック手づくり絵本展
- おすすめ絵本の紹介
- 絵本読み聞かせ「どうわかん」
- …などを予定しています。



※詳しい内容は、くらしの情報紙「かけはし」4月15日号でお知らせします



工作では、こいのぼりのリースを作ります

お問い合わせ先
本別町図書館
(愛称: ぶっくるーお)

本別町北2丁目 電・FAX 22-5112

■発行 本別町 / 〒089-3392 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 ■ホームページ <http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/>
■編集 企画振興課広報電算担当 TEL 0156-22-8121 FAX 0156-22-3237 ■印刷 本別印刷株式会社